隔週金曜掲載

認定特定非営利活動法人
わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223　FAX 073-423-8355
E-mail info@wnc.jp　URL https://wnc.jp/
編集　志場 久起

和歌山を創る新聞 わかつく

Vol.395
2026.8.21

わかやま NPO センターの現場から

わかやま NPO センター理事長が隔週水曜に投稿「わかやま NPO センターの日記」。日々のわかやま NPO センターの活動について、また活動を通じて感じたことなど、ゆるく書いています。こちらからアクセスできます。

みやきたこども食堂

詳しくは、LINE もしくは Instagram からご覧ください。

MYKT_KODOMO_KITCHEN

つながりと助けあいを育む～みやきたこども食堂

2020年4月から和歌山市黒田を拠点に活動する「みやきたこども食堂」。食事の提供と食材配布のみならず、チャリティーのフリーマーケット、ヨガ教室、母親交流会やこども向けのイベント開催など幅広い活動を続けています。代表の西浦さん夫妻にお話をうかがいました。

お弁当配布時は 200 食を準備
大人200円、こども（中学 3 年生まで）100円

きっかけは コロナ禍

活動の前身は食事やレクリエーションを通じて交流を深めお互いに助け合える場として月1回のペースで開催されていた「教会お泊まり会」。奥様のご実家である天理教の教会を会場にこどもたちが集う活動でした。

この活動をもっと地域に広げたいと考えていた矢先、新型コロナウイルスの感染拡大が発生。地域社会にも大きな変化をもたらしました。そこで、コロナ禍によって地域にどのような困りごとや生きづらさが生まれているのかを知るため、こども食堂を開くことを決めたそうです。

代表の西浦さん夫妻

食を通じて

まず取り組んだのが、食料を無料で配布する「フードパントリー」です。

対象としたのは、ひとり親家庭をはじめ、病気や介護などの事情で仕事に就くことが難しい方やそのご家庭です。食事を調理して提供するこども食堂に比べ、フードパントリーは準備のハードルが低く、活動を始めやすいという利点もありました。

食料を手渡しながら顔を合わせることで、少しずつ交流が生まれていき、そこから生まれる何気ないやり取りが、自身の近況や抱えている困りごとを話してもらうきっかけにもなったといいます。

助け合いの輪を地域に

現在は定期的なこども食堂の開催と食材配布を行いながら様々な活動にも取り組んでいます。

例えば、子育て中の母親をはじめ、幅広い女性を対象に悩みや思いに耳を傾ける「キキカフェ」、ピアサポーターが同じ立場の人同士の交流を支える「ピアカフェ」、ヨガ教室などの開催による地域の子育て世帯の交流支援、家庭で不要になったこども服を持ち寄るチャリティーフリーマーケットを通じての寄付支援、地域の学生や留学生、他団体と協力してのイベントや講座の共催など、その活動は多岐に渡ります。

こうした活動の背景には、一緒に考えてみたり、誰かに寄り添ってもらったり、誰かの手を借りたりすることもあれば、自分が誰かに手を貸すこともある、そんな風にその時々にできることで、「お互いに助け合うこと」を大切したいという思いがあります。

全国的にもこども食堂の役割が注目されるなか、みやきたこども食堂は地域に根差したセーフティーネット的な存在を目指してこれからも活動を続けていきます。誰もが集うことのできる「居場所」から、地域に安心と助け合いが広がっています。

（阪口晃彦）

みやきたこども食堂

食堂のロゴは教会で咲くブーゲンビリアがモチーフ

和歌山から、ファンドレイジングを考える。

国内最大規模の「寄付」を考えるカンファレンスイベント「ファンドレイジング・日本」が、今年初めて関西で開催されます。それを受け、和歌山県でプレイベント「FRJ Connect@和歌山」を開催します。

紀州では、熊野三山への参拝などのためにに資金を出し合う「講」や貸金といった仕組みが整えられていたとされていますが、現代でも「寄付」は地域や社会への参加を生み出す一つのあり方として捉えられています。

こうした過去と現代の寄附のあり方をもとに、和歌山における「寄付」の今後の可能性を考えます。

ファンドレイジング・日本 2025 より

FRJ Connect@和歌山

日　程　**2026 年 9 月 5 日（土）14:00 ～ 16:30**

場　所　**和歌山ビッグ愛 12 階 1201 会議室**（和歌山市手平 2-1-2）
ZOOM による同時配信あり

参加費　無料（事前申し込み必要）

定　員　会場 50 名・ZOOM 80 名

FRJ connect

内　容　**キーノートスピーチ「寄付の過去・現在・未来」**
山元　圭太さん（認定 NPO 法人日本ファンドレイジング協会 代表理事）

和歌山の「寄付」事例を知る
小野田真弓さん（熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会 代表）
柴田　政治さん（つくるがっこう イホルラ舎 代表）
中井　彩月さん（わかやま市民生活協同組合 経営管理課 課長）

ディスカッション「これからの和歌山と『寄付』」
志場　久起（和歌山県 NPO サポートセンター センター長）

◀ 参加申し込みはこちらから

こちらから申し込みができない場合は、お名前・ご所属・参加方法（会場または ZOOM）・ZOOM 参加の場合はメールアドレスを info@wakayama-npo.jp までお知らせください。

主　催

和歌山県 NPO サポートセンター
認定 NPO 法人日本ファンドレイジング協会

お問い合わせ
和歌山県 NPO サポートセンター
TEL　073-435-5424　FAX　073-435-5425
E-mail　info@wakayama-npo.jp

ファンドレイジング・日本 2026 公式サイト

FRJ Connect 公式サイト